

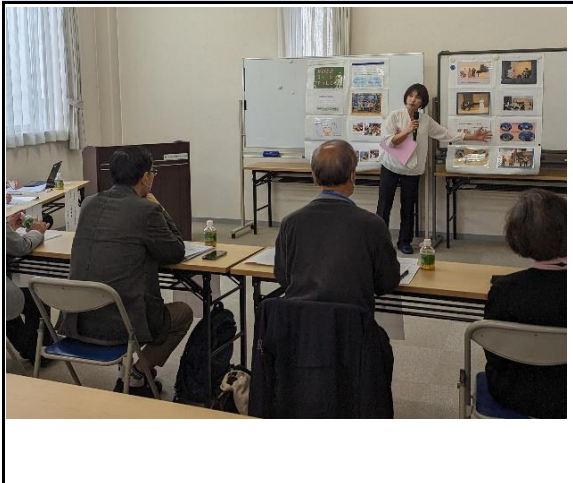



令和6度「地域コミュニティ活動支援事業」 採択された団体は下記6団体です。


1 / 2


代表者：中山周治	アートロジ麻生
	<p>麻生区内を流れる片平川の沿道は麻生区スポーツ・健康ロードに指定され、人々はジョギングや散歩を楽しんでいる。その遊歩道脇のコンクリート擁壁に設置された6脚のポスター用フレームを道行く人々がアート作品を楽しんでもらうスペースとして開放する。展示する作品は地元に関連するもの、区民から公募したもの、地元の作家のものとし、この一画が地元人々の心の交流の場となること、人々が地元を、地元の人々の営みをより深く知る機会となることを目的とする。</p>

代表者：小林由紀	かたひらほっとカフェ
	<p>地域住民同士や世代を超えたつながりが希薄となっている近年、【お互いが交流するために<同じ時間を過ごせる場所>を<住んでいる地域>で提供する】ことにより、お互いへの理解を深めることができると考えています。また住んでいる地域で開催することにより、興味のあるイベントが開催されていてもなかなか遠くまで足が運びにくい方も、また孤立・孤独を感じられる方も、社会参加の一步を踏み出しやすくなります。</p>

代表者：小林貴子	かわさきミュージックチャレンジ
	<p>障がいの有無を関係なく人との繋がりを音楽を楽しむことによって広げていきたい。障がいのある方が自信を持って社会の一員として生き生きとした生活、楽しみや目標を持つ暮らしを得て欲しい。また、様々な人生の中で音楽と関わっている方及び関わっていた方（プロ・アマチュア問わず）にも演奏する喜びの場を共有することにより、障がいの有無を問わないステージを通してお互いをリスペクトしていきたい。</p>

代表者：山田貢	岡上アグリ・リゾート
	<p>麻生区岡上地域で、30年前に和太鼓団体が発足し地域に根付いてきた。現在まで、岡上地域在住の子どもたちが会員対象となっていたが、今年度、川崎市制100thを機に新たに和太鼓団体を組織し可能な限り多くの子供たちを受け入れて一緒に楽しんでいただける仲間を募集したいと思っています。和太鼓を通じて出会った仲間たちと、思いっきり自己表現しながら地域の活性化にも注力する。また、近隣大学の太鼓サークルの学生をゲスト講師として招き世代間の交流も実施したい。</p>

代表者：吉田静香	市民紙芝居・あさお
	<p>日本独自の文化である「紙芝居（出版紙芝居）」を地域で演じることにより、またこれを観てもらうことにより、演じる側と観る側との交流を図り、その交流を通じて地域に根ざしたコミュニケーション作りを目指す。</p> <p>※出版紙芝居：戦後につくられ、公共図書館などに置かれている、民話、物語、観客参加型などの紙芝居</p>

代表者：中島洋江	健康麻雀教室 ピース
	<p>"お酒を飲まない、タバコを吸わない、お金を賭けない"健康麻雀は中でも特に「外出と交流」「心の健康」そして更に「脳の活性化」に貢献できるメリットが沢山あります。</p> <p>あえて手積みの麻雀卓を使用します。両手で牌を混ぜたり、裏返したり、集めたり、二段に積んだりするので指先を沢山動かします。これにより脳に多くの刺激が送られます。（電動麻雀卓を使用するよりはるかに手・指を動かす為、脳の活性化に効果抜群です。）</p>